

令和2年度使用小・中学校用教科用図書「選定及び採択した理由」

第23採択地区教科用図書採択協議会

第23採択地区教科用図書採択協議会では、協議の結果、以下の理由で教科用図書を選定しました。また、上記の結果に基づき、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町の各教育委員会では、以下の理由で教科用図書を採択しました。

小学校全教科

種目	発行者	選定及び採択の主な理由
国語	光村	<ul style="list-style-type: none"> 単元の学習活動が見開きで示されているため、学習過程を明確にして、見通しをもって学習できるような工夫がされている。 児童の心に響き、生き方を考えさせるような文学的文章や、文章構造が分かりやすく、見方・考え方を広げるような説明的文章が掲載されている。
書写	光村	<ul style="list-style-type: none"> 考えさせたいポイントを吹き出しで問い掛けるなど、字形について考えながら、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 毛筆のポイントにシールを貼ることができたり、ページの上部に内容をインデックスのように付けたりすることで、ねらいが分かりやすくなるように工夫されている。
社会	東書	<ul style="list-style-type: none"> 優れた複数の資料を比較・関連付けて提示する割り付けを行い、学習効果を高められるような工夫が見られる。 側注の問い・資料で、資料の見方、読み取り方を示し、全学年を通じて社会的事象の見方・考え方を考察できるよう配慮されている。
地図	帝国	<ul style="list-style-type: none"> 地図帳の使い方などの説明がていねいで分かりやすく、地理的な見方が広がるよう構成されている。 「地図マスターへの道」をはじめとするクイズなどを用意し、子供たちが興味を持って地図帳を使うことができるように工夫されている。

種目	発行者	選定及び採択の主な理由
算数	東書	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間の学習が、1～2ページで終了できるよう配慮されている。新しい用語や記号、単位は太字で書かれ、読み方や書き順が示されている。 ・巻頭で、教科書の使い方、印の意味などを紹介し、数学的活動が充実できるよう配慮している。問題解決的な学習展開への配慮も感じられる。問題提示の後、自力解決への見通しをもたせる「ふきだし」が多数見られる。
理科	学図	<ul style="list-style-type: none"> ・各ページの縦横に学びの流れが表記されており学習することが分かりやすく、その単元の「大事な言葉」も別に表記されていて捉えやすい。 ・単元末に「活用」が盛り込まれ、学びと生活を結びつけている。また、文字の大きさや色合い等、全体的に見やすく工夫されている。 ・科学的事象に対し関心が高まるよう、単元の導入では、身近な事象を取り上げている。
生活	学図	<ul style="list-style-type: none"> ・「生活科学び図かん」では、自己評価の欄が設けており、活動を振り返り学びに向かう力が高められるように工夫されている。また、各活動での具体的なポイントが「ワンポイントアドバイス」としてある。 ・イラストで描かれた児童のつぶやきが活動への意欲を高めている。
音楽	教芸	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面編集全体がユニバーサルデザインに配慮されており、学習上重要な情報を確実に読み取れるよう配慮されている。 ・主体的・対話的で深い学びを促す学習形態や活動内容が多く示されている。また、1年間で学習する内容が、目次の他にもイラストを用いて分かりやすく示すなど、工夫されている。
図画 工作	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書をA4版とし、題材を象徴する作品を大きく掲載し、細かいところまで作品を見て想像を広げることができる。一方で、様々な異なった作風、素材や技法の作品例を豊富に掲載している。また、児童作品に児童の思いが書かれている。

種目	発行者	選定及び採択の主な理由
家庭	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・製作手順の説明が、写真と文章の分量がバランスよく配置されていて、児童が理解しやすいよう工夫されている。さらに、家庭での実践につながるよう、サイズや量、手順が詳細に示された例示が多くある。
保健	光文	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けた活動内容の例示が4パターン（「調べよう」「考えよう」「やってみよう」「話し合おう」）あり、どんな学び方で課題を解決するかが分かりやすい。他教科、他学年とのつながりが明記され、教科等横断的な視点でのカリキュラムマネジメントに有効である。
英語	東書	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の文化や日本の文化を紹介するページが多く、学習しながら世界や未来に目をむけることができ、他文化に対する興味・関心が高まる工夫がある。各単元の最後では、Hop Step Jump の段階を経て、スピーチにつなげている。 ・巻末には聞いて書くこと、読んで書くことに特化したページを設けて、語彙の定着や英文の書き方への気づきを促している。
道徳	学研	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の問題意識を尊重し、主体的に課題を見つけ、解決する資質や能力を培うことを重視した教材の構成になっている。 ・「学び方のページ」を設け、自己の生き方への考えを深めたり、多様な学習過程を提案し、多面的・多角的に考えたりすることができるようになっている。

中学校（道徳を除く全教科）

種目	発行者	選定及び採択の主な理由
国語	光村	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年7つの単元と巻末の文法・漢字・資料・付録で構成されている。 ・生徒にとって親しみやすく、確かな言葉の力を育てる質の高い教材が多い。また、道徳科との関連も図られている。 ・表現に役立つよう、多様な語彙を示した「感想を表す言葉」や情報について学ぶ「情報コラム」などが設定されている。
書写	光村	<ul style="list-style-type: none"> ・教材ごとに目標が示され、学習活動を通して自己評価につながる学習の流れが分かるようになっている。 ・楷書と行書の使い分けの単元では、場面に適した書き方を考えさせることで、より実生活に生かせるようしてある。
地理	東書	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の最初に単元を貫く学習追究テーマを決める手立てが示され、課題を明確にし、生徒が追究していくよう工夫されている。 ・学習のふり返りで学習課題に沿ったまとめが例示されているので、地域的特色を捉えやすく、まとめの仕方のモデルが示されていてよい。
歴史	東書	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を豊富に掲載して視覚的効果を高めている。絵画・写真・図表などの資料が鮮明で、各資料からの読み取りがしやすい。 ・各時代の導入部では、小学校の学習の基礎の上に、中学校の学習を系統的に積み上げられるような活動ができるよう工夫されている。
公民	東書	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬裁判が取り入れられているところに工夫が見られる。話し合う活動が多く取り入れられ、スキルを学びながら社会参画の基礎を養うことができる。 ・思考力・判断力・表現力を高める工夫が見られる。地方自治に関する記述が詳細である。
地図	帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・色や文字がきれいで見やすい。 ・地図を見る視点が分かりやすく、自主的に調べられる。さらに、地図に遊びの要素が含まれ、見ていて楽しくなる工夫が施されている。

種目	発行者	選定及び採択の主な理由
数学	東書	<ul style="list-style-type: none"> ・章の導入での「疑問」や「生徒キャラクター」のやりとりなどで、内容を補助するとともに、数学的な活動を促すように示されている。 ・本文では、思考を補助する課題や吹き出しが示され、巻末にある「問題編」「課題編」では、習得・習熟の段階に応じた指導ができるように構成されている。
理科	学図	<ul style="list-style-type: none"> ・実際にある場面を捉えた具体的な写真が多く用いられており、図と合わせて学習内容を視覚的に捉えやすくしている。ていねいな文章で説明がなされており、補足的・発展的な内容も欄外に多く掲載されているため、生徒の興味を高めたり、学習を補ったりするような工夫がなされている。
音楽一般	教芸	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統的な音楽の扱いとして、1年がソーラン節、2年が長唄「勸進帳」3年が能「羽衣」を取り上げ学年の発達段階を考えられた構成になっている。題材も歌おう→唄おう→謡おうという表記になっていて3年間を見通したものになっている。
音楽器楽	教芸	<ul style="list-style-type: none"> ・「名曲スケッチ」では、名曲の解説とリコーダーで演奏する編曲が掲載されている。 ・リコーダー、ギター、箏、三味線、太鼓、尺八、篠笛の音色を聴くために関連した鑑賞教材が掲載されており、表現と鑑賞で領域を横断する教材が示されている。
美術	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に沿った、系統的な題材で構成している。また、実際の授業を想定し、表現と鑑賞を明確に区分せず、題材の中で表現と鑑賞を関連させて働かせる構成としている。 ・生徒の内面に重点を置き、学習のねらいを設定するとともに生徒作品には作者の言葉を添えている。全題材に、小学校と共通の「学習の振り返り」を掲載している。

種目	発行者	選定及び採択の主な理由
保健	学研	<ul style="list-style-type: none"> ・一単位時間分を見開き 2 ページで構成され、学習の見通しが立てやすい。学習の流れも「課題をつかむ」「本文・資料」「活用」と一貫した構成であり授業の流れをつかみやすい。全体的には、基礎的・基本的な知識の習得とその活用・探究に重点を置き、思考力・判断力を育成する工夫が見られる。
技術	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容ごとに、「学習の目標」から「ふり返し」までがひとまとまりとして構成されている。 ・指導内容の最後に「学習をふり返ろう」「生活に生かそう」「探究活動」など「学習のまとめ」として示されている。 ・安全な作業に関わる内容が、作業場面に関連付けて示されている。
家庭	開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ・最初にガイダンス、続いて A「家族」 B「食生活」 C「衣生活・住生活」 D「消費・環境」の順になっており、学習内容も導入、基礎、実習、発展的な学習へと流れている。また、「生活の課題と実践」は巻末に掲載されている。 ・生活の自立と共生という視点で各内容が構成されており、自立をめざすことを大きな目標に掲げて学習を進めていくということが打ち出されている。
英語	学図	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年とも Chapter (章)、Lesson (課)、Review (復習)、Project (自己表現) から構成されている。 ・1 学年は Pre-lesson で小学校の復習をし、Lesson 1 は一般動詞から学習が始まるなど、小学校外国語活動との接続を考慮している。